



# まちづくり研究会ニュース

発行：JR芦屋駅南地区まちづくり研究会

平成 26 年 3 月

## まちづくり方針(案)まとめを検討しています。

3月1日(土)10時30分より、上宮川文化センターにて、第7回勉強会を開催しました。当日は21名(市4名、コンサルタント3名含む)の参加があり、まず、意向調査の最終結果報告がありました。(平成25年12月16日～平成26年2月28日、調査票回収率90%)

また、これまでの意見要望を踏まえた『JR芦屋駅南地区のまちづくり方針(案)』について説明があり、意見交換を行いました。

内容については、次ページ以降でお知らせします。

### プログラム

- ・ 前回勉強会のふりかえり
- ・ JR芦屋駅南地区のまちづくり方針(案)について
- ・ 意見交換

### お知らせ

今回の勉強会で提示させていただきました「意向調査の最終結果報告の資料」につきまして、必要な方は4ページ最下段に記載しています「お問い合わせ先」まで、ご連絡ください。



# まちづくり方針(案)の内容について

## ●まちづくり課題

### ①交通環境の再整備・強化

#### ●歩行者等の安全性確保

(バリアフリー)

駅前広場や駅前線などにおいて、人と車の動線を整理するなどの歩行者の安全性の確保やバリアフリーへの配慮が求められています。

#### ●駅南北の連携と交通結節機能の強化

駅の南北を一体的にとらえ、全体として、芦屋駅にふさわしい交通結節点としての強化が必要となります。

### ②落ち着いたゆとりある駅前拠点の形成

#### ●芦屋の中心核としてふさわしい玄関口の顔づくり

住宅などを主体とし、市の中心核としてふさわしい都市機能の導入により、芦屋の玄関口としての顔づくりが必要となります。

#### ●落ち着いたゆとりある生活環境づくり

落ち着いたゆとりが感じられ、ハイセンスな生活環境が享受できるような、駅前の拠点づくりが求められています。

### ③“芦屋らしさ”の創出

#### ●快適で品格ある都市環境・景観形成(アメニティの創出)

花や緑、統一感のあるお洒落な店舗などのイメージが求められており、快適でかつ品格のある都市環境や景観を連続させ、「都市回遊ゾーン」の一画として、地区周辺の回遊性を向上させていくことが必要となります。

#### ●「芦屋らしい」地域アイデンティティの創出

上記などにより、さらに「芦屋らしさ」のイメージを高め、地域アイデンティティをつくり出していくことが必要となります。

## ●まちづくり課題及び地元意向調査結果に基づいたまちづくり方針(案)

### 「交通環境の再整備・強化」に関連する方針

- ① 駅前広場及び駅前広場東線の整備により歩行者等の安全性を確保します
- ② JR 芦屋駅と南側街区を結ぶ歩行者動線を確保し、地区の利便性を高めます
- ③ 駅前広場東線と駅前線を接続して駅前広場の通過交通を排除するとともに円滑な交通処理を行います
- ④ 駅前広場の整備により交通結節機能を向上させます
- ⑤ 駅前線の拡幅整備により歩行者等の安全性を確保します

### 「落ち着いたゆとりある駅前拠点の形成」に関連する方針

- ⑥ 駅前拠点としてふさわしい機能の立地誘導を目指します
- ⑦ 駅前拠点としての機能立地に伴い生じる交通を安全・円滑に処理します

### 「“芦屋らしさ”の創出」に関連する方針

- ⑧ 駅前線沿道での街並みや景観を形成し、お洒落な店舗等を誘導することにより、駅周辺の回遊性を高めます
- ⑨ 街並みと緑の景観の連続性を確保します
- ⑩ 山・緑の眺望や景観を活かした環境を整備し、「芦屋らしい」まちのイメージを形成します

## ●まちづくり方針図（案）

※本方針図（案）は、まちづくりの方向性を示したものであり、これまでの勉強会や意向調査では、この案にとどまらない多くの提案もいただいている。今後は、こうしたことを踏まえ、本方針図（案）をベースにして、地元の方々や関係機関と調整しながら詳細な検討を行うものとする。

② JR 芦屋駅と南側街区を結ぶ歩行者動線を確保し、地区の利便性を高めます

④ 駅前広場の整備により交通結節機能を向上させます

⑤ 駅前線の拡幅整備により歩行者等の安全性を確保します

① 駅前広場及び駅前広場東線の整備により歩行者等の安全性を確保します

③ 駅前広場東線と駅前線を接続して駅前広場の通過交通を排除するとともに円滑な交通処理を行います

⑩ 山・緑の眺望や景観を活かした環境を整備し、“芦屋らしい”まちのイメージを形成します

⑥ 駅前拠点としてふさわしい機能の立地誘導を目指します

⑧ 駅前線沿道での街並みや景観を形成し、お洒落な店舗等を誘導することにより、駅周辺の回遊性を高めます

⑦ 駅前拠点としての機能立地に伴い生じる交通を安全・円滑に処理します

⑨ 街並みと緑の景観の連続性を確保します

## 【参加者の主な意見】（次ページに続く）

### ○意向調査について

- ・意向調査結果は住民意向が反映されている。
- ・意向調査を通じて、市やコンサルタントと直接会話したことでお互いの考え方や想いなどがやり取りできて良かった。
- ・まちの課題についての設問は、交通関係の選択肢がほぼ半数あり、それらが上位に来ている。歩行者の安全性を確保したり、道路の改善など交通関係の課題を解決するのは、当たり前の話ではないか。
- ・交通関係以外では、景観や緑、駅前機能の一体的なつながりなどが挙げられているので、こういったことも重視してほしい。
- ・(コンサルタント) 交通課題も含めまち全体の課題を解決しながら、まちの価値創造をどうつくっていくかが重要。

### ○まちのイメージについて

- ・「ハイセンス」というイメージだけではないのではないか。
- ・「高齢者も住みやすい」といったキーワードは入れてほしい。

### ○まちづくり方針図について

- ・まちづくり方針図と意向調査結果の内容が結びつかない。まちづくり方針図は交通課題を解決するための図になっている。
- ・交通課題は、JRの敷地内で解決することを考え、図が示すような駅前広場東線が南に下がってこないようなかたちを考えてほしい。
- ・(コンサルタント) まちづくり方針図は、抽象的な概念を示したもので、駅前として求められる機能や要素を示している。駅前広場の機能と交通ネットワークとして道路をどう接続させるかなどを示したものとして理解してほしい。
- ・駅北側と同様に限られた敷地の中で対応することを考えていってはどうか。土地がないのだから道路が駅前を通過するというのも仕方ないのではないか。
- ・(コンサルタント) 通過交通の排除を図るのが、駅前広場の基本原則としての考え方である。
- ・(市) 歩行者等の安全性の確保の観点から駅前の通過交通は排除したい。
- ・基準や原理原則による考え方しかできないというのではなく、芦屋にあったかたちを検討してほしい。



## 【参加者の主な意見】（続き）

### ○来年度以降の検討に向けて

- ・事業のエリアとしては、今回のまちづくり方針図を踏まえるが、道路や駅前広場、施設機能の配置については来年度再検討するというどうか。
- ・（コンサルタント）まちづくり方針図は、検討を進めるおおよそのエリアを固めた図として理解してほしい。エリアの中では居住や営業を続ける意向が多かった。色々なパターンを検討しながら、ステップアップするかたちで一つずつ決めていきたい。
- ・（コンサルタント）意向調査を踏まえると、立体的なまちづくりを検討して進めていく必要があると考えられる。
- ・（市）歩行者安全性やまちの雰囲気（商業環境など）なども含め、駅の北側とは違ってほしいという意見が勉強会でも出されていた。
- ・（コンサルタント）今後、検討を進めるにあたっては、研究会の枠では決めきれないことも出てくると考えられる。次年度以降の検討の進め方、勉強会の持ち方などを検討していければと考えている。

### ○JR との協議について

- ・JR も一地主権者となれば我々と同等の立場ではないか。
- ・（市）JR にも勉強会の予定などをお知らせして、出席のお誘いは市からしている。
- ・JR として何か計画を持っているのではないのか。
- ・（市）4 月以降に本格的に検討を始めていくということは聞いている。
- ・そういう動きとあわせて、JR と市とで協力していくようなかたちをつくってほしい。
- ・もっと市と JR が連携してほしい。特にトップ同士がやり取りを行うようなかたちをつくってほしい。
- ・新快速が停まる駅でもあり、「芦屋」という土地に見合った駅にしてほしい。

## 今後のスケジュール

次回の勉強会は、まちづくり方針（案）について、さらに議論を深め、まとめていきたいと思えます。3 月は 2 回目の開催となりますが、ご参加よろしくお願いたします。



### 第 8 回勉強会

日 時：平成 26 年 3 月 22 日（土）

午前 10 時 30 分より

場 所：上宮川文化センター  
3 階 大会議室

テーマ：まちづくり方針（案）のまとめ

今年度最後の勉強会です。  
ぜひ、ふるってご参加ください！



■お問い合わせ先

JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会

（事務局） ☎ 659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市都市建設部都市整備課

☎ 0797-38-2074 FAX 0797-38-7974